

# 令和5年5月の崩土について

(経緯)

- 5月3日 山側のモルタル吹付法面にて、風化した岩盤等を含むモルタル片がはく落  
大型土のうを設置し、交通誘導員による片側交互通行
- 5月7～8日 80mm以上の降雨
- 5月8日 モルタル片はく落が拡大  
大型土のうを追加で設置
- 5月9日 専門家（日本工営）と現地調査  
(上部の自然斜面部において顕著な変状は認められなかった。モルタル背部の岩盤が風化したのが直接の素因で、80mm以上の降雨が誘因と推察される。)
- 5月24日～5月28日  
仮設防護柵 延長46m、高さ7m（地中2m、地上5m）を設置
- 5月29日 信号機による片側交互通行を開始  
  
(調査・設計および入札手続き)
- 12月4日 本復旧工事を契約  
(現地作業は1月から工事に着手する予定だった。)



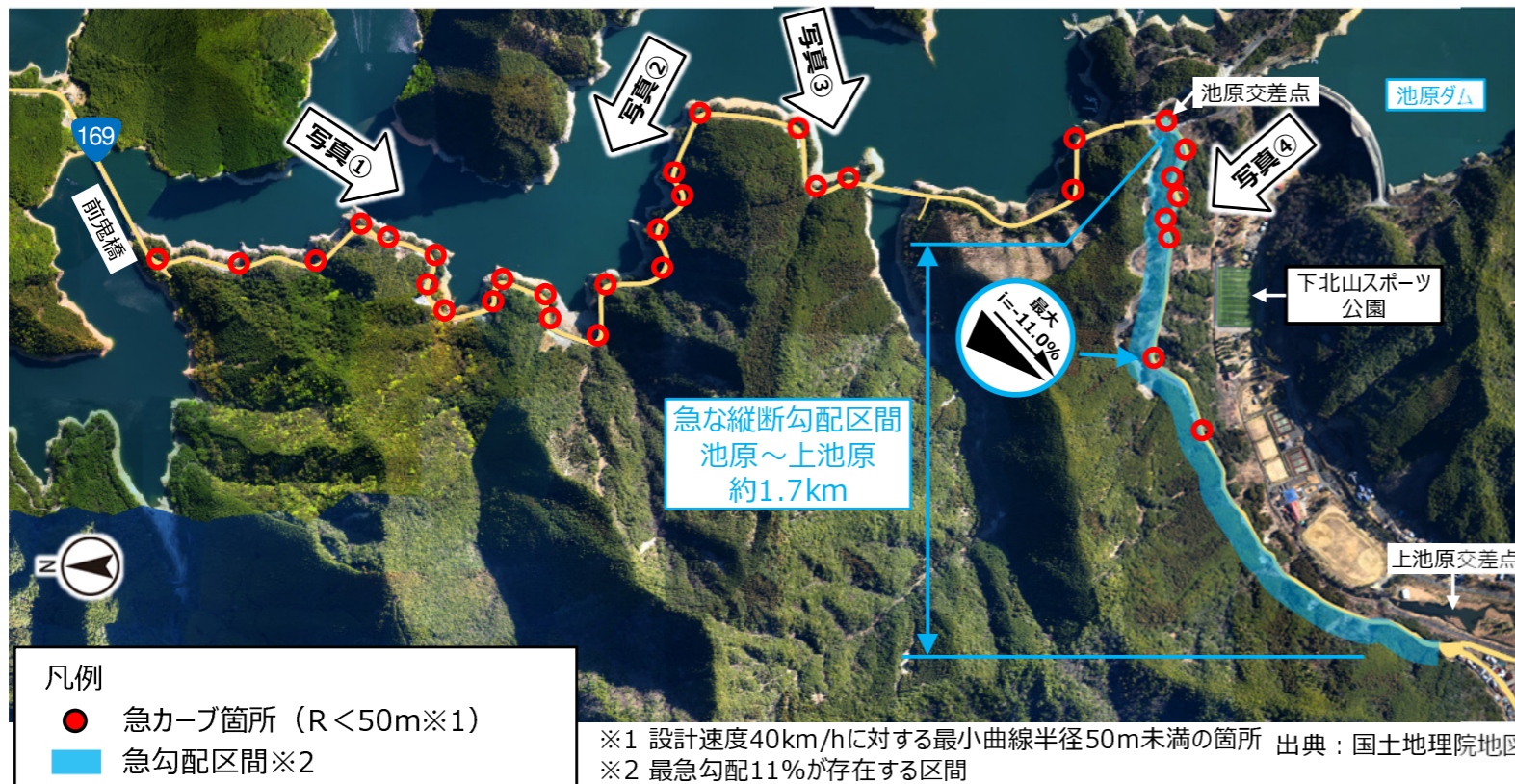
写真（上）：5月8日の崩落後



写真（左）  
：仮設防護柵設置後 3

# 事故の発生した一般国道169号の当該区間周辺の状況

## ■ 一般国道169号（下北山村前鬼～上池原）の線形不良区間



## ■ 道路防災点検の結果、要対策箇所がある区間



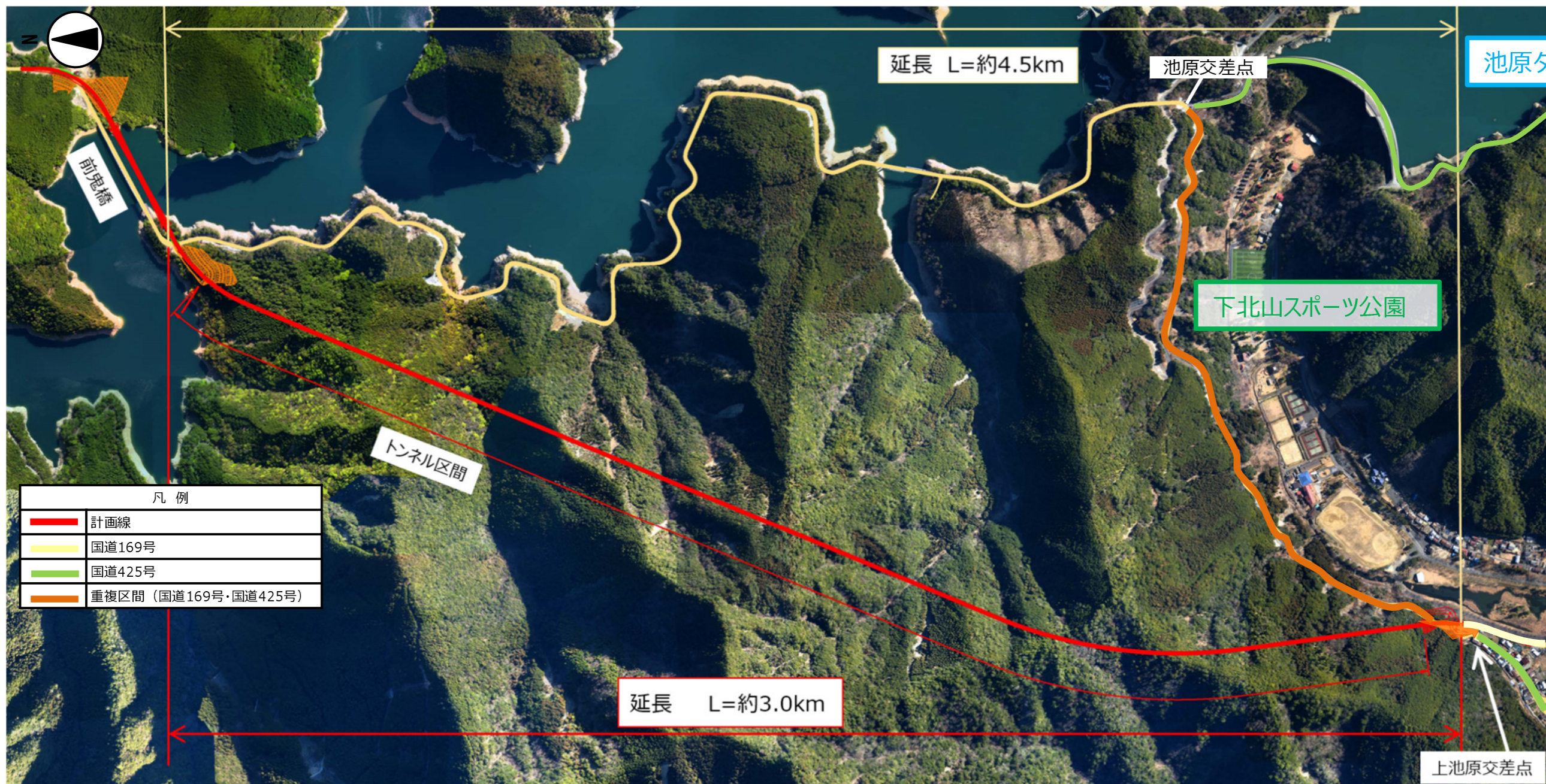
### 【大規模な法面崩土が発生】

R2.4.1 大規模な法面崩土発生  
R2.6.24 暫定交通開放 (片側交互通行)  
→崩土発生から暫定交通開放までの約3ヶ月間、  
国道168号への広域迂回  
R3.11.25 対策完了後に全面交通開放



出典：国土地理院地図

# 一般国道169号（下北山村前鬼～上池原）の事業化ルート（案）



事業概要	
路線名	一般国道169号(仮称)下北山道路
事業区間	奈良県吉野郡下北山村前鬼～上池原
事業延長	L=3.0km
構造規格	第3種第2級
設計速度	V=60km/h
計画交通量	1,200台/日
車線数	2車線

